

まえがき

学長 松 藤 千 弥

『東京慈恵会医科大学教育・研究年報 2018 年版（平成 30 年度版）』を刊行いたします。

2018 年度、本学では「医学・看護学の教育・研究とその実践を通して人類の健康と福祉に貢献する」という理念のもと、教育・研究活動に取り組みました。

教育面では、時代の要請に応える人材を育成するために、アウトカム基盤型カリキュラムへの本質的転換、国際化の促進、卒前・卒後教育の連動、学位審査体制の整備などを課題として取り上げております。研究面では、社会からの期待に応える研究体制を整備するために、URA 部門による研究支援体制の整備、総合医科学研究センターの強化、学内研究費の有効配分に取り組みました。

西新橋キャンパスでは再整備工事が進捗しており、2018 年 12 月には、2 号館・N 棟竣工式が執り行われました。2 号館には臨床系医局の研究室（臨床ラボ）を設け、研究者の交流を図っています。

2018 年 11 月、本学は鹿児島大学医学部及び大学院医歯学総合研究科との間で包括連携協定を締結しました。宮崎県出身である学祖の高木兼寛先生は、鹿児島大学医学部の前身である島津藩医学校の校長として活躍した英国人医師ウイリアム・ウィリス先生の影響を受けて英国に留学し、帰国後は、患者中心の英国医学を日本に伝えようとして本学の起源となる成医会講習所を創設しました。鹿児島大学との教育、研究における関係を深めていくなかで、学祖の建学の精神にも目を向け、本学の教育、研究活動の充実につなげていきたいと考えております。

本年報には、2018 年度の各講座・研究施設における教育・研究活動の概要が報告されています。教育・研究活動の発展と学内連携の強化の促進のために、本年報が活用されることを願っております。

最後になりますが、本年報の刊行にあたり、執筆、編集にご尽力いただいた関係各位にお礼申し上げます。